

「大阪・関西万博 リボーンチャレンジ交流会」を開催 ～ 異業種との交流により、新たなアイデア創出・技術開発をめざす ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、8月7日（月）、当金庫の万博出展支援事業への応募者を集めた「リボーンチャレンジ交流会」を開催しました。

当金庫は、大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオン「展示・出展ゾーン」への出展支援事業（総称：リボーンチャレンジ）に取り組んでおり、6月末まで「健康な生活・快適な生活・サステナブルな生活」の実現につながる製品・技術・アイデアを募集しました。

本交流会には、出展支援事業への応募者のうち36団体と、支援機関として公益財団法人大阪産業局からソフト産業プラザTEQS（テックス）およびクリエイティブネットワークセンター大阪メビックの担当者が参加し、各自の応募内容についての情報交換やアイデアの連携に関する相談など、活発な交流が行われました。

当金庫は今後も大阪・関西万博への取り組みを通して、中小企業やスタートアップ企業の成長・発展への支援と、地元経済の活性化および持続的発展に貢献してまいります。

記

1. 開催概要

- (1) 日 時 令和5年8月7日（月）16:30～18:00
- (2) 会 場 大阪シティ信用金庫 本店2階 大ホール
- (3) 参加者 36団体
- (4) 支援機関 ソフト産業プラザTEQS（テックス）
クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック
（いずれも公益財団法人大阪産業局が運営する施設）



開会のあいさつをする阪井理事



交流会の様子

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

